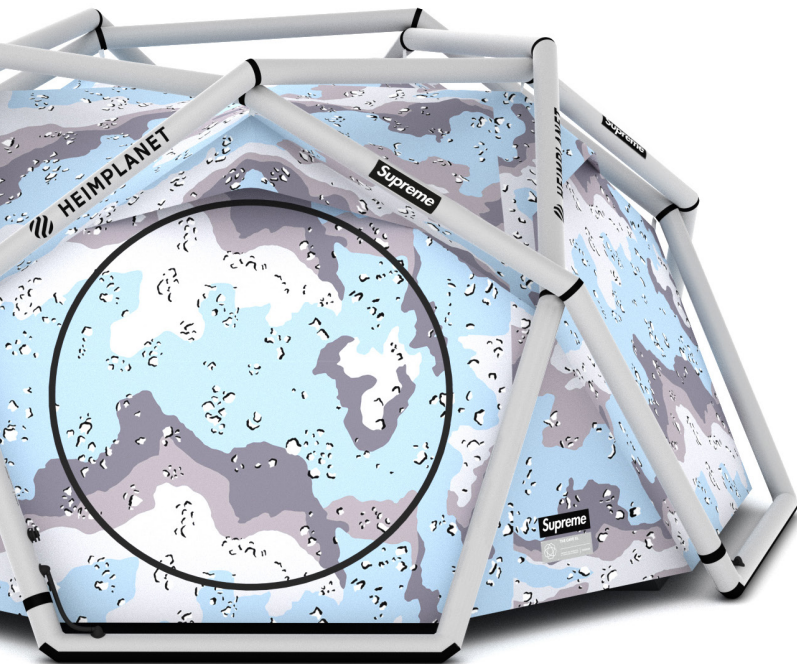


THE CAVE XL

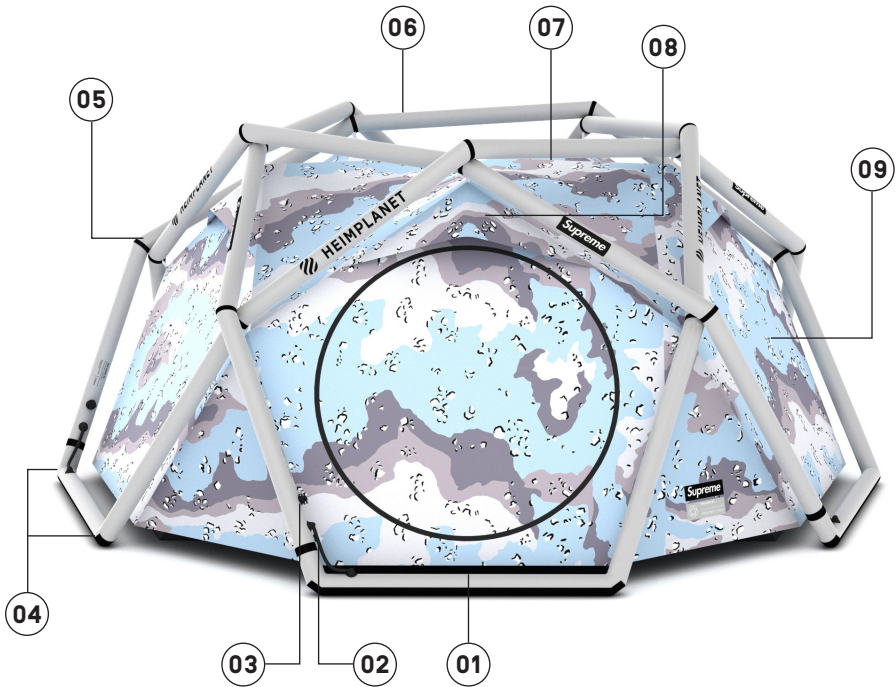
Supreme

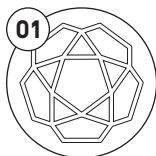


3人用テント
「IGD」/ジオデシック構造
マルチチャンバー・セーフティ・システム
ワンポンプ・システム
重量 5.4 キログラム



HEIMPLANET は、旅、新たなアイデア、創造的な方法で物事を達成する決意を応援します。

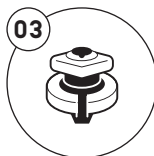




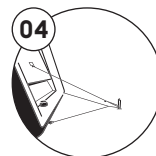
インフレータブル・ダイヤモンド・グリッド(空気注入式ダイヤモンド格子/IDG)は、ダイヤモンドの分子構造に着想を得た自立式エアフレームです。デザインは、ジオデシックドームの設計原理によるもの。安定性が高く、表面積対体積比も非常に優れているのが特徴です。



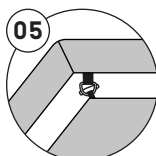
特許を取得したマルチチャンバー・セーフティー・システム(多室型安全システム)により、エアフレーム全体(「IDG」)を一つのステップで膨らませることができます。膨らんだフレームは、ワンポンプ・コネクターで5個の分離された空間(チャンバー)に分けることができ、一部の部品が破損した場合も安定性を確保できます。



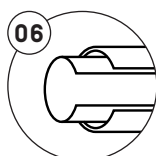
IDGは、支柱の全室(チャンバー)にツーンワン・バルブが付いていて、それぞれ二つのふたがついています。一つは、エアフレームを迅速かつ簡単に膨らませるための一方通行のバルブで、もう一つは楽に空気を抜くための大きめの開口部です。これにより、非常に楽にテントの設営・撤収ができます。



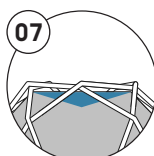
張り綱オプション:「The Cave XL」には、フライシートとインナーテントがきちんと分離された状態を保ちつつ、全ての角(4個)を確実に固定するため張り綱取り付けポイントが組み込まれています。これにより、外が荒天や土砂降りの場合も「The Cave XL」は非常に安定した状態に保たれ、ぬれることもありません。



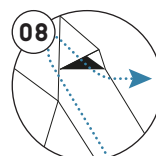
柔軟性:本テントは、フレーム、フライシート、インナーテントが一つのステップ(空気注入)で設営できる設計になっています。フライシートとインナーテントは別々に使用することも可能です。



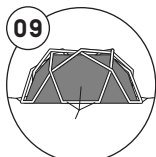
エアビームは強固な二層構造が特徴です。密閉性のあるTPU(熱可塑性ポリウレタン)の空気袋が、長時間にわたり一定の空気圧を維持します。外側スリーブは特に強固なポリエステル生地できていて、剛性と耐久性に優れています。



ギアロフトは、インナーテントの天井部の下側に物を収納したり、ランプを置いてテント内に柔らかい光を拡散させたりするのに使えます。



上部ベンチレーション:開閉可能な換気口により、最悪のコンディションでも上向きの空気の流れが申し分なく確保されます。



「Cave XLs」のフライシートは、2種類のインナーテントに対応しています。**3シーズン**用は、上部生地の一部にメッシュを採用することで、キャンピング内への空気の流入を促します。**4シーズン**用は、ナイロンを100パーセント使用した構造により、保温性を最大化します。

設営

テントは、事前に取り付けを行ったフレーム、フライシート、インナーテントの三つの部品から構成されています。簡単に取り出して膨らませることができ、設営はあっという間です！



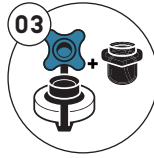
準備する

テントと付属品を取り出します。取り出したものを地面に並べましょう。



閉じる [x5]

全てのバルブを閉じます。



開く [x1]

ポンプをアダプターの一つに接続します。



ポンプで空気を注入する:

空気注入は短時間ででき、テントは自動的に立ち上がります。



閉じる [x1]

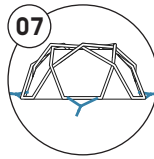
ポンプを外し、全てのバルブがきちんと閉まっていることを確認します。



固定する [x5]

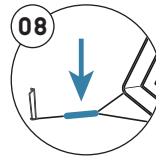
パンチクリップを使ってエアビームの各室(チャンバー)を分離します。

★



地面側の支柱をペグで固定する

まずは、支柱を軽く地面に固定します。強風のコンディションでは、このステップを先に完了しておくことができます。本テントほど、風が吹いているときでも楽に設営できるテントはありません！



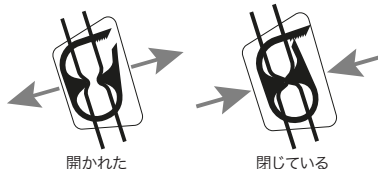
テンションをかける

最後に、テントがしっかり固定されるよう全ての張り綱をびんと張ります。

★

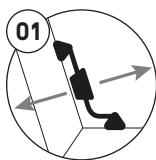
固定クリップ

ネオプレンスリーブ内のクリップは、簡単に操作可能です。ネオプレン保護用カバーの上から手で触って操作できます。



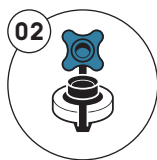
撤収

撤収時は、組み立てられたフレーム、フライシート、インナーテントの三つの部品を一つにまとめたまま収納することが可能です。こうすることで、次回も簡単に使えます。テントの中のもの全てを取り出し、テントがぬれていないことを確認してください。カビを防ぐため、必要な場合は自宅で空気乾燥させましょう。



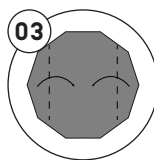
空気の放出 [x5]

パンチクリップを開放します。



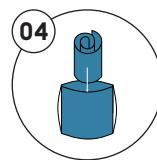
開く [x5]

全てのバルブを開きます。



折りたたむ

テントをつなげたまま(フレーム、フライシート、インナーテントを含む)折りたたみます。折りたたむたびに、余分な空気を押し出します。



巻き上げて収納する

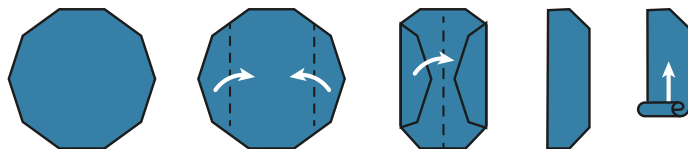
正しく折りたたんだテントを巻き上げ、余分な空気を押し出します。巻き上げたテントをバッグに入れ、ストラップを使って圧縮します。

★

★

ヒント!

テントを正しく折りたたむことができれば、収納袋にきちんと収まります。エアフレームから最大限空気を抜くには、テントを巻き上げては広げる作業を最後に数回繰り返し、巻き上げるたびに少しずつ追加で空気を絞り出すようにしてください。こうすることで、テントを最小限の収納サイズまで圧縮できます。



修理

「IDG」は特に丈夫な素材できています。それでも、外側のスリーブや内部の空気袋が破損した場合は、自転車のパンクと同じように交換や修理が可能です。空気袋に穴が開いている場合は、各支柱の端にある修理用開口部を通じて簡単に取り出すことができます。

01 修理用開口部を見つける

修理用開口部は、各支柱の端にあります。ベルク口を開き、内部のTPU空気袋にアクセスします。

★

02 コネクターとバルブ

ワンポンプ・コネクターからゴムチューブとプラスチックリングを取り外し、バルブをゆるめ、バルブとワンポンプ・コネクターを押し出します。

03 コネクターにひもを取り付ける

ひも(張り綱を使ってもよい)を、修理用開口部から最も遠い位置にあるワンポンプ・コネクターに取り付けます。

04 空気袋を引き出す

空気袋を、外側スリーブから慎重に引き出します。ひもは自動的に外側スリーブ内に引き入れられます。修理後は、ひもを使って空気袋を再挿入します。

05 修理／交換

修理キットに含まれている粘着パッチで穴を修理することができます。修理用素材から、破損部分より全方面が2センチメートルほど大きくなるよう、角に丸みを持たせたパッチを切り抜きます。必要であれば、破損した空気袋を新しいものと交換してください。

06 空気袋を挿入する

再挿入するときは、空気袋がねじれないよう細心の注意を払ってください。空気袋がねじれると、空気注入時に破損する可能性があります。空気袋を再挿入した後は、空気袋の端と閉じ部分を支柱の端に折り込んでください。

07 ベルク口を閉める

支柱の開口部内にあるベルク口をしつかり固定してください。

08 空気袋にゆっくり空気を入れる

空気袋の挿入後は、支柱内の空間に完全に広がるようにしてください。それから、袋が正しい位置に置かれているよう注意しながらゆっくり空気を注入します。空気袋が正しい位置にない場合(空気袋がねじれている、支柱内の空間に広がっていないなどの場合)は位置を修正するか、取り出してから再度正しく挿入してください。

★

ご注意事項

支柱の外側スリーブが破損している場合は、すぐに交換が必要です。交換されない場合、内部の空気袋が破損するおそれがあります。この場合、角と底部にあるベルク口の閉じ部分を外し、該当の支柱全体を取り外して交換してください。

お手入れ

HEIMPLANET のテントは極めて耐久性の高い素材からできています。そのためわずかなお手入れでも、頼れるお休み場所として長年にわたりご使用いただけます。

テントを優しく扱えば、テントはそれに応えてくれる。

カビやカビによるしみを防ぐため、使用後は毎回テントをさっとふいてください。

しみやすさは、柔らかい布とぬるま湯のせっけん水で落とすのが効果的です。テントを洗濯機で洗ったり、プロのドライクリーニングに出したりしてはいけません。

ジッパーが開閉しづらい場合は、少量のろうを塗布してください。

ご支援いただきありがとうございます。
ございます。当社が設計時に感じた楽しさを、本商品をご利用いただく皆さまにも同じように感じていただけることを願っております。

どこに行ってもその瞬間を楽しみ、くつろぐことができますように。

—
JOIN THE MOMENT AND
MAKE YOURSELF AT HOME
WHEREVER YOU GO.



HEIMPLANET ENTWICKLUNGS GMBH
SHANGHAI ALLEE 21
20457 HAMBURG / GERMANY

—
WWW.HEIMPLANET.COM

—
WWW.FACEBOOK.COM/HEIMPLANET
WWW.X.COM/HEIMPLANET
WWW.INSTAGRAM.COM/HEIMPLANET

